

令和4年度 決算状況				人口増減率	70,331人 平成27年国調 69,702人 0.9%	区分	住民基本台帳人口	うち日本人	産業構造			都道府県名 01 北海道		団体名 2319 恵庭市	市町村類型 地方交付税種地	Ⅱ－3 1－4	
歳入の状況（単位：千円・％）						令和5.1.1 平成4.1.1 増減率	70,179人 70,108人 0.1%	69,635人 69,626人 0.0%	区分	令和2年国調	平成27年国調	第1次 4.0 6,715 21.1 23,833 74.9	1,212 4.0 6,550 21.6 22,605 74.4	北海道 恵庭市		地方交付税種地	1－4
区	分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比				区分	令和2年国調	平成27年国調						
市町村税の状況（単位：千円・％）										指定団体等 の指定状況				収入			
区分						収入	構成比	超過課税分	旧新産○ 旧工特×	旧新産○ 旧工特×	旧新産○ 旧工特×	旧新産○ 旧工特×	旧新産○ 旧工特×	旧新産○ 旧工特×	旧新産○ 旧工特×	旧新産○ 旧工特×	旧新産○ 旧工特×
普通						7,899,127	92.8	110,580	低開発×	低開発×	低開発×	低開発×	低開発×	低開発×	低開発×	低開発×	低開発×
市町村民税						3,740,490	44.0	110,580	山振×	山振×	山振×	山振×	山振×	山振×	山振×	山振×	山振×
内個人均等割						121,458	1.4	—	過疎×	過疎×	過疎×	過疎×	過疎×	過疎×	過疎×	過疎×	過疎×
所得割						3,142,180	36.9	—	首都×	首都×	首都×	首都×	首都×	首都×	首都×	首都×	首都×
法人均等割						214,445	2.5	35,688	近畿×	近畿×	近畿×	近畿×	近畿×	近畿×	近畿×	近畿×	近畿×
法人税割						262,407	3.1	74,892	中部×	中部×	中部×	中部×	中部×	中部×	中部×	中部×	中部×
固定資産税						3,400,423	40.0	—	財政健全化等×	財政健全化等×	財政健全化等×	財政健全化等×	財政健全化等×	財政健全化等×	財政健全化等×	財政健全化等×	財政健全化等×
うち純固定資産税						3,389,416	39.8	—	指数表選定○	指数表選定○	指数表選定○	指数表選定○	指数表選定○	指数表選定○	指数表選定○	指数表選定○	指数表選定○
軽自動車税						184,577	2.2	—	財源超過×	財源超過×	財源超過×	財源超過×	財源超過×	財源超過×	財源超過×	財源超過×	財源超過×
市町村たばこ税						573,637	6.7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
鉱産税						—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
特別土地保有税						—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
法定外普通税						—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
目的						608,622	7.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
法定目的税						608,622	7.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
内入湯税						9,445	0.1	—	議員公務災害×	議員公務災害×	議員公務災害×	議員公務災害×	議員公務災害×	議員公務災害×	議員公務災害×	議員公務災害×	議員公務災害×
事業所税						—	—	—	非常勤公務災害×	非常勤公務災害×	非常勤公務災害×	非常勤公務災害×	非常勤公務災害×	非常勤公務災害×	非常勤公務災害×	非常勤公務災害×	非常勤公務災害×
都市計画税						599,177	7.0	—	退職手当○	退職手当○	退職手当○	退職手当○	退職手当○	退職手当○	退職手当○	退職手当○	退職手当○
水利地益税等						—	—	—	事務機共同×	事務機共同×	事務機共同×	事務機共同×	事務機共同×	事務機共同×	事務機共同×	事務機共同×	事務機共同×
法定外目的税						—	—	—	税務事務×	税務事務×	税務事務×	税務事務×	税務事務×	税務事務×	税務事務×	税務事務×	税務事務×
旧法による計						8,507,749	100.0	110,580	老人福祉×	老人福祉×	老人福祉×	老人福祉×	老人福祉×	老人福祉×	老人福祉×	老人福祉×	老人福祉×
合						8,507,749	100.0	110,580	伝染病×	伝染病×	伝染病×	伝染病×	伝染病×	伝染病×	伝染病×	伝染病×	伝染病×

性質別歳出の状況（単位：千円・％）						目的別歳出の状況（単位：千円・％）						区分		令和4年度(千円)	令和3年度(千円)	
区	分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率	区	分	決算額（A）	構成比	（A）のうち 普通建設事業費	（A）の 充当一般財源等	基準財政収入額	7,979,534	7,602,101	
人件費						4,560,528	12.6	4,210,843	4,038,532	24.8	議会費	222,127	0.6	4,875	222,127	基準財政収入額
うち職員						2,777,631	7.7	2,522,272	—	—	総務費	7,088,658	19.5	434,508	3,029,246	基準財政需要額等
扶助						7,354,208	20.3	1,917,603	1,791,206	11.0	民生費	12,017,402	33.1	4,843	5,071,011	標準財政規模
公債						2,791,514	7.7	2,696,253	2,696,253	16.5	衛生費	2,972,197	8.2	93,967	1,566,394	財政力指数
元利償還金						2,717,632	7.5	2,622,371	2,622,371	16.1	労働費	28,087	0.1	—	24,329	0.60
一時借入金						73,852	0.2	73,852	73,852	0.5	農林水産業費	509,647	1.4	10,720	189,437	実質収支比率（％）
（義務的経費計）						14,706,250	40.5	8,824,699	8,525,991	52.3	商工費	1,193,776	3.3	2,760	761,747	公債費負担比率（％）
物件費						6,043,326	16.7	3,538,838	2,907,693	17.8	土木費	4,849,332	13.4	2,482,954	2,298,027	13.3
維持補修費						1,122,572	3.1	936,737	673,698	4.1	消防費	925,632	2.6	111,294	823,217	健全実質赤字比率（％）
補助費						4,735,727	13.1	2,322,031	1,201,154	7.4	教育費	3,671,135	10.1	694,164	2,485,760	断全連結実質赤字比率（％）
うち一部事務組合負担						10,105	0.0	8,343	8,343	0.1	災害復旧費	—	—	—	—	比率化将来負担比率（％）
繰出金						2,515,903	6.9	1,992,801	1,854,390	11.4	公債費	2,791,514	7.7	—	2,696,253	1.3
積立金						3,145,563	8.7	677,829	—	—	諸支出金	—	—	—	—	健全実質赤字比率（％）
投資・出資金・貸付金						160,081	0.4	108,881	—	—	前年度繰上充用金	—	—	—	—	健全実質赤字比率（％）
前年度繰上充用金						—	—	—	—	—	歳出合計	36,269,507	100.0	3,840,085	19,167,548	健全実質赤字比率（％）
投資的経費						3,840,085	10.6	765,732	—	—	繰出合計	3,286,208	9.3	86,874	86,874	健全実質赤字比率（％）
うち人件費						50,385	0.1	38,617	15,271,662 千円	—	営下水	749,258	2.1	—	—	国民健康保険加入世帯数（世帯）
普通建設事業費						3,840,085	10.6	765,732	93.7 %（95.4 %）	—	事上水	21,047	—	—	—	国民健康保険加入世帯数（世帯）
うち補助						1,876,164	5.2	24,605	（減収補填債（特例分）	—	業工業用水	—	—	—	—	国民健康保険加入世帯数（世帯）
うち単独						1,963,921	5.4	741,127	及び臨時財政対策債除く）	—	等交通	—	—	—	—	国民健康保険加入世帯数（世帯）
災害復旧事業費						—	—	—	一般財源等	—	への国民健康保険	637,386	1.8	—	—	国民健康保険加入世帯数（世帯）
失業対策事業費						—	—	—	—	—	出のそ	1,878,517	5.2	—	—	国民健康保険加入世帯数（世帯）
歳出合計						36,269,507	100.0	19,167,548	20,341,193 千円	—	合	1,878,517	5.2	—	—	国民健康保険加入世帯数（世帯）

令和4年度 決算状況				人口増減率	70,331人 平成27年国調 69,702人 0.9%	区分	住民基本台帳人口	うち日本人	産業構造			都道府県名 01 北海道		団体名 2319 恵庭市	市町村類型 地方交付税種地	Ⅱ－3 1－4	
歳入の状況（単位：千円・％）						令和5.1.1 平成4.1.1 増減率	70,179人 70,108人 0.1%	69,635人 69,626人 0.0%	区分	令和2年国調	平成27年国調	第1次 4.0 6,715 21.1 23,833 74.9	1,212 4.0 6,550 21.6 22,605 74.4	北海道 恵庭市		地方交付税種地	1－4
区	分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比				区分	令和2年国調	平成27年国調						
市町村税の状況（単位：千円・％）										指定団体等 の指定状況				収入			
区分						収入	構成比	超過課税分	旧新産○ 旧工特×	旧新産○ 旧工特×	旧新産○ 旧工特×	旧新産○ 旧工特×	旧新産○ 旧工特×	旧新産○ 旧工特×	旧新産○ 旧工特×	旧新産○ 旧工特×	旧新産○ 旧工特×
普通						7,899,127	92.8	110,580	低開発×	低開発×	低開発×	低開発×	低開発×	低開発×	低開発×	低開発×	低開発×
市町村民税						3,740,490	44.0	110,580	山振×	山振×	山振×	山振×	山振×	山振×	山振×	山振×	山振×
内個人均等割						121,458	1.4	—	過疎×	過疎×	過疎×	過疎×	過疎×	過疎×	過疎×	過疎×	過疎×
所得割						3,142,180	36.9	—	首都×	首都×	首都×	首都×	首都×	首都×	首都×	首都×	首都×
法人均等割						214,445	2.5	35,688	近畿×	近畿×	近畿×	近畿×	近畿×	近畿×	近畿×	近畿×	近畿×
法人税割						262,407	3.1	74,892	中部×	中部×	中部×	中部×	中部×	中部×	中部×	中部×	中部×
固定資産税						3,400,423	40.0	—	財政健全化等×	財政健全化等×	財政健全化等×	財政健全化等×	財政健全化等×	財政健全化等×	財政健全化等×	財政健全化等×	財政健全化等×
うち純固定資産税						3,389,416	39.8	—	指数表選定○	指数表選定○	指数表選定○	指数表選定○	指数表選定○	指数表選定○	指数表選定○	指数表選定○	指数表選定○
軽自動車税						184,577	2.2	—	財源超過×	財源超過×	財源超過×	財源超過×	財源超過×	財源超過×	財源超過×	財源超過×	財源超過×
市町村たばこ税						573,637	6.7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
鉱産税						—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
特別土地保有税						—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
法定外普通税						—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
目的						608,622	7.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
法定目的税						608,622	7.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
内入湯税						9,445	0.1	—	議員公務災害×	議員公務災害×	議員公務災害×	議員公務災害×	議員公務災害×	議員公務災害×	議員公務災害×	議員公務災害×	議員公務災害×
事業所税						—	—	—	非常勤公務災害×	非常勤公務災害×	非常勤公務災害×	非常勤公務災害×	非常勤公務災害×	非常勤公務災害×	非常勤公務災害×	非常勤公務災害×	非常勤公務災害×
都市計画税						599,177	7.0	—	退職手当○	退職手当○	退職手当○	退職手当○	退職手当○	退職手当○	退職手当○	退職手当○	退職手当○
水利地益税等						—	—	—	事務機共同×	事務機共同×	事務機共同×	事務機共同×	事務機共同×	事務機共同×	事務機共同×	事務機共同×	事務機共同×
法定外目的税						—	—	—	税務事務×	税務事務×	税務事務×	税務事務×	税務事務×	税務事務×	税務事務×	税務事務×	税務事務×
旧法による計						8,507,749	100.0	110,580	老人福祉×	老人福祉×	老人福祉×	老人福祉×	老人福祉×	老人福祉×	老人福祉×	老人福祉×	老人福祉×
合						8,507,749	100.0	110,580	伝染病×	伝染病×	伝染病×	伝染病×	伝染病×	伝染病×	伝染病×	伝染病×	伝染病×

性質別歳出の状況（単位：千円・％）						目的別歳出の状況（単位：千円・％）						区分		令和4年度(千円)	令和3年度(千円)	
区	分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率	区	分	決算額（A）	構成比	（A）のうち 普通建設事業費	（A）の 充当一般財源等	基準財政収入額	7,979,534	7,602,101	
人件費						4,560,528	12.6	4,210,843	4,038,532	24.8	議会費	222,127	0.6	4,875	222,127	基準財政収入額
うち職員						2,777,631	7.7	2,522,272	—	—	総務費	7,088,658	19.5	434,508	3,029,246	基準財政需要額等
扶助						7,354,208	20.3	1,917,603	1,791,206	11.0	民生費	12,017,402	33.1	4,843	5,071,011	標準財政規模
公債						2,791,514	7.7	2,696,253	2,696,253	16.5	衛生費	2,972,197	8.2	93,967	1,566,394	財政力指数
元利償還金						2,717,632	7.5	2,622,371	2,622,371	16.1	労働費	28,087	0.1	—	24,329	0.60

（注）１．普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

２．東京都特別区における基準財政収入額及び基準財政需要額は、特別区財政調整交付金の算出に要した値であり、財政力指数は、前記の基準財政需要額及び基準財政収入額により算出。

３．産業構造の比率は分母を就業人口総数とし、分類不能の産業を除いて算出。

４．人口については、調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

５．面積については、調査対象年度の10月1日現在の市区町村、都道府県、全国の状況を取りまとめた「全国都道府県市区町村別面積調」（国土地理院）による。

６．個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合、「給料月額（百円）」及び「一人当たり平均給料月額（百円）」を「アスタリスク（*）」としている。（その他、数値のない欄については、すべてハイフン（-）としている。）